

# 2026年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社 ミスター・マックス・ホールディングス  
 コード番号 8203 URL <https://www.mrmaxhd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画・財務部門管掌 (氏名) 石井 宏和  
 配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東福  
 TEL 092-623-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	110,860	8.8	3,614	23.5	3,674	27.3	2,338	24.4
2025年2月期第3四半期	101,885	5.0	2,926	17.7	2,887	20.8	1,878	21.2

(注)包括利益 2026年2月期第3四半期 2,396百万円 (27.7%) 2025年2月期第3四半期 1,877百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 70.19	円 銭
2025年2月期第3四半期	56.47	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 91,710	百万円 37,714	% 41.1
2025年2月期	83,199	36,058	43.3

(参考)自己資本 2026年2月期第3四半期 37,714百万円 2025年2月期 36,058百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期		0.00		23.00	23.00
2026年2月期(予想)		0.00		27.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 147,000	% 7.6	百万円 4,400	% 15.1	百万円 4,400	% 16.3	百万円 2,900	% 17.1	円 銭 87.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 社 (社名)

除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期3Q	39,611,134 株	2025年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2026年2月期3Q	6,284,119 株	2025年2月期	6,322,620 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期3Q	33,311,577 株	2025年2月期3Q	33,273,467 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当っての注意事項については、添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における営業収益（売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入）は1,108億60百万円（前年同期比108.8%）、営業利益は36億14百万円（前年同期比123.5%）、経常利益は36億74百万円（前年同期比127.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億38百万円（前年同期比124.4%）と増収増益となりました。

当社グループは「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売するエブリディ・ロープライス（EDLP）に注力し、EDLPを支えるエブリディ・ローコスト（EDLC）を徹底してまいりました。さらに、ミスター・マックスに関するすべてのステークホルダーに、「より良い明日」を届けるべく、「暮らしのエンパワメント（あと押し）・カンパニー」として、豊かで便利で楽しい未来の実現を目指しています。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,067億13百万円（前年同期比109.0%）と過去最高を記録しました。10月の創業月には、お客様の日頃のご愛顧に感謝し、創業100周年記念セールを開催したことで、売上高および客数の増加に大きく寄与しました。商品別では、米の価格高騰が社会問題となる中、新米から備蓄米まで幅広く品揃えすることで、米の売上は大幅に増加しました。また、物価高騰に対応し価格訴求を行った、衣類用洗剤、ペットフード、酒の売上が伸長しました。

プライベートブランド（PB）商品については、家電メーカーの製品を当社専用機種として販売したエアコン・洗濯機・冷蔵庫などの家電製品が売上を大きく伸ばしました。さらに、キッチン用品や食品などの消耗品も売上を拡大した結果、PB商品の売上高は前年同期比118.6%となり、売上高構成比は前年同期に比べ1.9%増加し23.1%となりました。これらの要因により、既存店売上高前年同期比は107.2%となりました。

新規出店については、2025年7月に「MrMax Selectユーカリが丘店」（千葉県佐倉市）、2025年8月に「MrMax 別府店」（大分県別府市）をオープンし、2025年11月末時点の店舗数は59店舗となりました。

荒利益高は235億34百万円（前年同期比109.5%）と、売上高の伸長が荒利益高の増加に繋がりました。荒利益率は前年同期に比べ0.1%増加し、22.1%となりました。

コスト面では、賃金の上昇により人件費は増加しましたが、セルフレジの導入など業務効率化を進めたことで作業時間の増加を抑え、人件費の増加を最小限にとどめることができました。また、新規出店や既存店の改装に伴い減価償却費が増加し、さらにキャッシュレス決済の利用増に伴い、手数料も増加いたしました。結果、販売費及び一般管理費は240億66百万円（前年同期比106.9%）となりました。

これからもディスカウントストアの枠を超えた新たな価値を創造し、皆様の生活をより豊かで便利にする「暮らしのエンパワメント（あと押し）・カンパニー」を目指してまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ62億5百万円増加し、255億31百万円となりました。これは主として、商品の増加31億38百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ23億5百万円増加し、661億79百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の増加6億95百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ85億11百万円増加し、917億10百万円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ69億86百万円増加し、348億52百万円となりました。これは主として、短期借入金の増加53億50百万円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億32百万円減少し、191億43百万円となりました。これは主として、社債の減少5億86百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ68億54百万円増加し、539億95百万円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ16億56百万円増加し、377億14百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加15億72百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年10月9日公表の「2026年2月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,754	2,907
売掛金	3,474	5,191
商品	12,787	15,925
貯蔵品	46	40
その他	1,263	1,465
流动資産合計	19,325	25,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,562	14,258
土地	30,115	30,317
その他（純額）	4,439	5,398
有形固定資産合計	48,118	49,973
無形固定資産	1,506	1,320
投資その他の資産		
差入保証金	6,490	6,174
その他	7,790	8,741
貸倒引当金	△31	△30
投資その他の資産合計	14,248	14,885
固定資産合計	63,873	66,179
資産合計	83,199	91,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流动負債		
支払手形及び買掛金	8,473	11,013
电子記録債務	7,589	6,232
短期借入金	—	5,350
1年内返済予定の長期借入金	5,462	5,809
1年内償還予定の社債	586	586
未払法人税等	948	624
賞与引当金	788	573
その他	4,017	4,662
流动負債合計	27,865	34,852
固定負債		
社債	1,906	1,320
长期借入金	9,598	10,219
退職給付に係る負債	886	906
資産除去債務	1,598	1,655
その他	5,285	5,041
固定負債合計	19,275	19,143
負債合計	47,141	53,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	8,003	8,013
利益剰余金	20,038	21,610
自己株式	△2,563	△2,548
株主資本合計	35,707	37,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228	299
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	4	—
退職給付に係る調整累計額	118	110
その他の包括利益累計額合計	350	409
純資産合計	36,058	37,714
負債純資産合計	83,199	91,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	97,934	106,713
売上原価	76,443	83,179
売上総利益	21,490	23,534
営業収入		
不動産賃貸収入	2,979	3,116
その他の営業収入	972	1,029
営業収入合計	3,951	4,146
営業総利益	25,442	27,681
販売費及び一般管理費		
販売費	4,933	5,326
一般管理費	17,582	18,739
販売費及び一般管理費合計	22,516	24,066
営業利益	2,926	3,614
営業外収益		
受取利息	15	14
補助金収入	39	51
テナント退店収益	3	75
受取保険金	—	67
その他	62	64
営業外収益合計	120	273
営業外費用		
社債利息	5	5
支払利息	94	116
固定資産圧縮損	—	56
その他	58	34
営業外費用合計	159	213
経常利益	2,887	3,674
特別損失		
固定資産除却損	39	176
特別損失合計	39	176
税金等調整前四半期純利益	2,847	3,498
法人税、住民税及び事業税	1,142	1,342
法人税等調整額	△173	△182
法人税等合計	968	1,160
四半期純利益	1,878	2,338
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,878	2,338

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	1,878	2,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	70
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	0	△4
退職給付に係る調整額	△0	△8
その他の包括利益合計	△1	58
四半期包括利益	1,877	2,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,877	2,396
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費 1,988百万円	2,245百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。